

## 平成 23 年度シーニックバイウェイ北海道行動計画(案)

1. 重点取組(案)

制度設計から6年が経過しシーニックバイウェイ北海道を取り巻く状況は大きく変化しており、指定ルートのみならず活性化等が求められている。また、本年3月11日発生した東日本大震災により観光を主たる産業とする北海道は大きな影響を受けている。

このことから、平成23年度「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」の活動に当たっては、以下のような観点からルート活動を総合的、積極的に支援し、これまでの活動の活性化、ひいては北海道地域の活性化に寄与するよう重点的に取り組むこととする。

2. 重点取組項目(案)(1) 情報発信・PRの強化

ルート個々の取組から、推進協議会構成機関による総合的な情報発信・PRとすることで、道内外との交流を促進すべく、あらゆる手段を活用した取組を展開する。

- 1) 道内の交流促進 : 札幌駅前通地下歩行空間、道の駅、旅行専門誌等
- 2) 道外、海外の交流促進 : 道内主要空港、北海道物産展等
- 3) ホームページのリニューアル

(2) 民間企業等と連携した取組支援

推進協議会構成機関のもつノウハウを活かし、活動団体と企業ニーズのマッチングを支援することで連携を促進するため、推進協議会構成メンバーによる連携プロジェクトチームを設置し、これまでの取組事例の評価分析、連携促進を図る。

併せて企業インセンティブを高めるため、推進協議会による表彰制度を検討する。

(3) 道の駅との連携強化

年間約3千万人が立ち寄る「道の駅」との相乗効果を高めるため、各種イベント、観光・地域情報等での相互乗り入れを促進する。

(4) 人材育成

将来の地域経営を担う人材育成のため、昨年度から始まった南十勝総合学習の成功事例を全道へ展開するため、教育委員会等との調整を行う。

また、活動団体相互やルート審査委員等との意見やノウハウの交換を促進する。

(5) 道東自動車道夕張～占冠開通を契機とした取り組み

今秋開通により、ハイウェイ、バイウェイを活用した新たな周遊観光を促進する。

### 3. 平成23年度行動計画(案)「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」

資料3-3(別紙①)

H23 行動計画		主な関係機関	スケジュール
項目	取組概要		
1. あらゆる手段を活用し情報発信を強化	札幌駅前通地下歩行空間での広報活動 ・1日5万人以上の通行がある札幌駅前通地下歩行空間で、「推進協議会」が集中的にシーニックの活動や地域イベント等のPR活動を行う。	北海道開発局、北海道商工会議所連合会、北海道、北海道運輸局、北海道経済連合会、北海道商工会連合、北海道観光振興機構、日本観光振興協会、支援センターほか	・4月末より実施中 ・集中PR期間(9月)
	道内各空港での広報活動 ・旅行者の旅の起終点となる空港において、「Byway」の配布、パネル展の実施等の観光情報、地域情報を発信し交流促進を図る。(道内11空港)	北海道開発局、北海道、北海道運輸局、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合、北海道観光振興機構ほか	・4月末より実施中 ・道内11空港で実施予定
	北海道物産展等と連携した広報活動 ・集客力を有する物産展や東京にある北海道の情報コーナー等でシーニックの活動や地域イベント等のPR活動を行う。	北海道、北海道観光振興機構、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合、北海道農業協同組合中央会、北海道開発局、支援センターほか	・秋の実施に向け検討中
	旅行専門誌や地域情報誌を利用した積極的な広報活動 ・旅行誌や地域情報誌と連携し、シーニックの活動や地域イベント等のPR活動を行う。	北海道開発局、支援センターほか	・5月より実施中
2. 民間企業と連携した取組の拡大・充実	新たな地域ビジネス展開支援 ・ルートの課題である情報発信の強化、ルートと企業ニーズのマッチングを行うため連携プロジェクトを立ち上げ、検討、試行を行う	支援センター、北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合、北海道観光振興機構、支援センターほか	・PTの設置(8月～) ・冬期のプロジェクトで試行予定
	支援企業等へ表彰制度を新設 ・これまでにルート活動を支援してきた企業等へのインセンティブを高めるため表彰制度を新設。	北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道森林管理局、北海道地方環境事務所、北海道ほか	・準備会を設立(8月)し、制度の骨格を検討

3. 道の駅との連携	道の駅との共同イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力を有する道の駅でシーニックと共同でスタンプラリー等を開催し、周遊促進を図る。</li> </ul>	北海道開発局、支援センターほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月より実施中(5地域)</li> <li>・秋冬期実施予定</li> </ul>
	道の駅での情報発信強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力を有する道の駅において、シーニックの活動情報と構成機関の地域イベント情報等を発信。</li> </ul>	北海道開発局、関係市町村ほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月より一部実施中(留萌、旭川)</li> </ul>
4. 人材育成	学校(子ども)シーニックの展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の地域経営を担う人材の育成を目的として、南十勝夢街道で始まった取組(小学校の総合学習の一環として地域の魅力を再発見する地域マップを作成)の全道への展開を図るため、教育委員会等との調整を行う。</li> </ul>	開発局、関係市町村、支援センターほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施(帯広)</li> <li>・他地域への展開(各教育委員会と調整)</li> </ul>
	現地意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ルート活動団体が相互に、また、活動団体と推進協議会メンバーやルート審査委員とが現地で直接、意見や事例を交換する機会を設ける。</li> </ul>	開発局、関係市町村、支援センターほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道東道の開通を契機に、11月に十勝3ルートと意見交換</li> </ul>
5. 道東自動車道(占冠～夕張)開通に伴う取組	関係機関が連携した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝地域の関係団体、行政機関が一体となり、「十勝魅力発信キャンペーン」としてPR活動等を展開する。</li> </ul>	「オールとかち魅力発信連絡協議会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施中</li> </ul>
	景観の改善と案内の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関と活動団体が一体となって、美しい沿道景観づくりのための清掃活動や、地域資源の案内看板や標識等の整備を実施する。</li> </ul>	開発局、北海道、関係市町村ほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋期実施予定</li> </ul>
	秋・冬期イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開通後の十勝地域の周遊促進としてスタンプラリーを実施する。</li> <li>・秋、冬期の地域資源発掘としてフォトコンテストを実施する。</li> </ul>	開発局、支援センターほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月実施予定</li> </ul>

# 札幌駅前通地下歩行空間・道内各空港での情報発信

資料3-3(別紙②)

開発局では、東日本大震災を受けて、低迷する北海道観光を支援するため、4月末より、関係機関との調整を行い、札幌駅前通地下歩行空間及び道内各空港(新千歳空港、たんちょう釧路空港、根室中標津空港)にて、地域情報や観光情報の発信等を実施。今後、9月に推進協議会において、北海道の周遊観光活性化を目的に、集中的な情報発信を行う予定。

## □これまでの主な取組

### 【札幌駅前通り地下歩行空間】

4/28～ シーニックバイウェイ北海道  
パネル展、リーフレットの配布、物販等

4/28～ 石狩、空知管内の市町村  
各自治体の観光紹介、各自治体によるプロ  
モーション物販等

5/10～ 札幌商工会議所  
観光ボランティアガイドによる臨時観光案内  
所開設

6/1～ 北海道観光局  
お出かけラリーの紹介

6/20～ 北海道商工会議所連合会  
「食と観光フェア」

6/27～ 北海道地区「道の駅」連絡会  
東北・北海道共同スタンプラリーの紹介、販売

### 【道内各空港におけるパネル展等】

4/28～ 新千歳空港	6/9～ たんちょう釧路空港	7/1～ 函館空港
7/7～ とかち帯広空港	7/13～ 根室中標津空港	7/26～ 利尻空港
7/28～ 稚内空港	(その他、道内4空港で実施予定)	

#### シーニックバイウェイ北海道(4/28～5/31)

シーニックバイウェイ北海道のルート紹介パネルの展示、ルート紹介のリーフレットを配布しました。また、恵庭推進団体(えこりん村)が出展しました。



立寄者:約16,000名 パンフ配布枚数:約1,000部

#### 観光ボランティアガイド(6/1～6/30) 「食」と「観光」道央フェア(6/20～6/30)

- 札幌商工会議所ボランティアガイドの会による観光案内所を設置し観光客の皆様へ札幌都心観光の案内を行いました。
- 北海道商工会議所連合会が、「食」と「観光」道央フェアで道央観光促進や特産品の消費拡大にむけたPRイベントを行いました。



観光ボランティアガイド(札幌商工会議所)  
ガイド出勤延時間105時間 利用人数554人

「食」と「観光」道央フェア(道商連)  
立寄者:約10,140名

#### シーニックバイウェイ北海道&道の駅

シーニックバイウェイ北海道「支笏洞爺ニセコルート」「札幌南シーニックバイウェイ」「十勝シーニックバイウェイ」「東オホーツクシーニックバイウェイ」の紹介パネルの展示、ルート紹介のリーフレット配布等を行い地域の魅力を紹介しました。  
道の駅「夕張メロード」のオープンについてPRしました。  
東北道の駅スタンプラリーの紹介とチャレンジブック販売を行いました。



道の駅「夕張メロード」(6/16～6/17) 立寄者:約1750名  
十勝シーニックバイウェイ(6/18～6/19) パンフ配布枚数:約900部  
東北道の駅スタンプラリー(6/27～6/30)

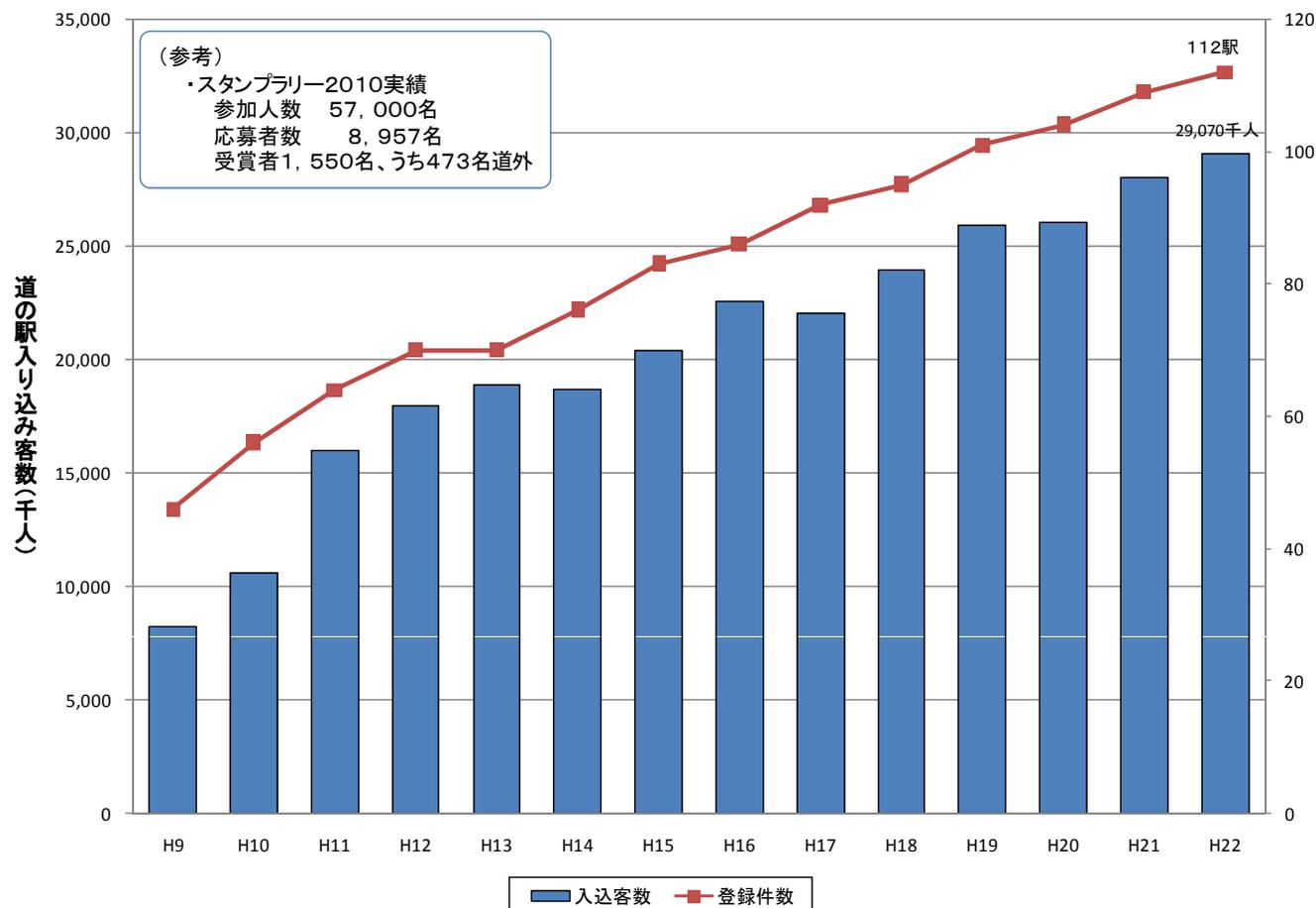
※参考 1日の通行者数  
平日(4/25) 約7万5千人  
休日(4/24) 約5万7千人  
  
GW(5/3) 約7万1千人  
よさこい(6/11) 約7万7千人

# シーニックバイウェイ北海道と道の駅の連携

資料3-3(別紙③)

東日本大震災を受けて、低迷する北海道観光を支援する取組として、東北と北海道が連携した道の駅スタンプラリーや、シーニックバイウェイ北海道と道の駅が連携した地域限定スタンプラリーを実施。

## ■北海道の道の駅入り込み客数と登録件数の推移



**東北・北海道**  
**「道の駅」元気回復スタンプラリー**  
 実施期間 2011 7.1(FRI) ▶ 9.30(FRI)

TOHOKU ROAD STATION 東北「道の駅」全139駅  
 スタンプラリー 2011 4.16(土) ~ 5.20(土)

STAMP 1 (TOHOKU) + STAMP 2 (TOHOKU) + STAMP 3 (TOHOKU) + STAMP 4 (HOKKAIDO) + STAMP 5 (HOKKAIDO) + STAMP 6 (HOKKAIDO)

東北・北海道「道の駅」でスタンプを各3個、合計6個集めて東北地方特産品プレゼントに応募しよう!

# シーニックバイウェイ北海道と道の駅の連携 ～道の駅との共同スタンプラリー（夏期）～

⑤ 萌える天北  
オロロルート  
スタンプラリー  
(初開催)  
7/16～9/25



④ シーニックカフェ&  
道の駅&たんちよう  
釧路空港連携スタン  
プラリー(初開催)  
7/16～10/31



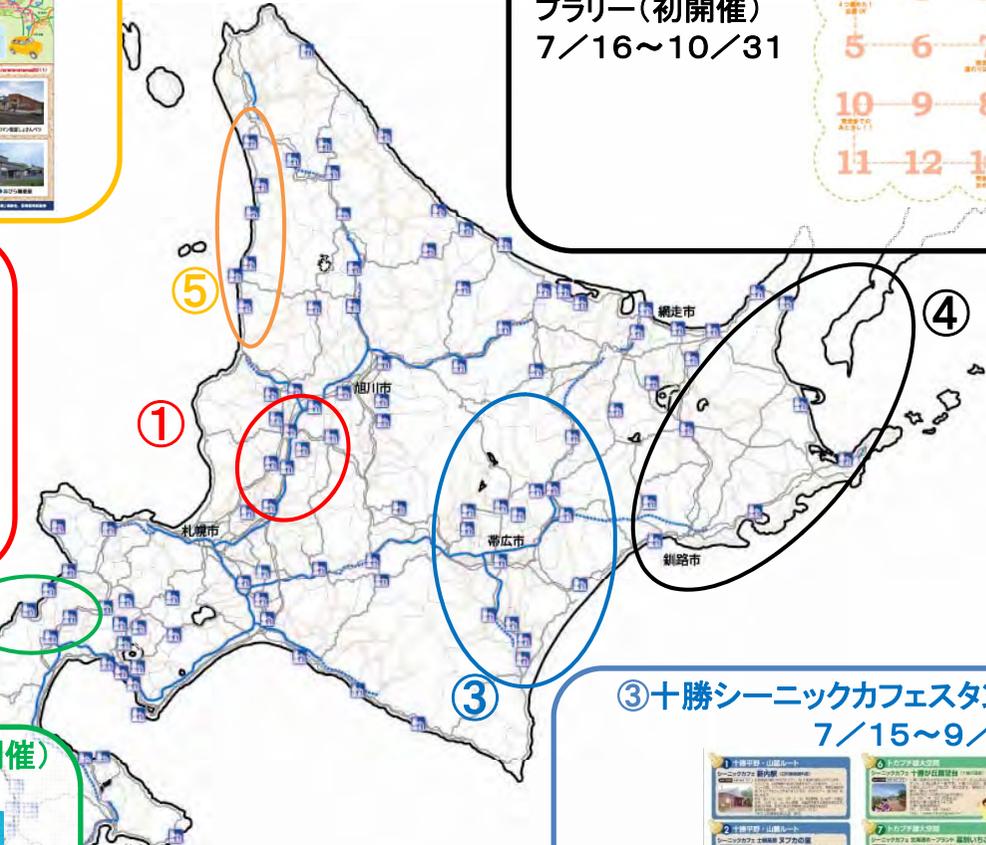
① そらち「道の駅」  
スタンプラリー  
(第2回)  
6/17～10/10



② 南しりべし『道の駅』スタンプラリー(初開催)  
7/1～11/6



③ 十勝シーニックカフェスタンプラリー(第3回)  
7/15～9/30



# シーニックバイウェイ北海道と道の駅の連携 ～道の駅での地域情報発信～

地域ごとにシーニック、道の駅、自治体イベントを情報ペーパーとして取りまとめ、各道の駅などで配布し観光情報の発信を強化。

## 留萌版 地域・観光情報

### シーニックバイウェイ北海道 萌える天北オロロンルート

# オロンドライブ情報

◆ 7月17日(日) 富士見海水浴場「みなくるび〜ち」オープン記念ビーチバレーボール大会  
毎年「みなくるび〜ち」のオープンに合わせて、ビーチバレーボール大会が開催され多くの人で賑わいます。隣には河川公園キャンプ場などがありキャンプと海水浴などが一緒に楽しめます。  
場 所: 富士見海水浴場「みなくるび〜ち」(遠別町)  
お問い合わせ先: 遠別町バレーボール協会 TEL: 090-8497-2981(事務局専用携帯)

◆ 7月16日(土)〜7月18日(月) 第36回てしお川港まつり・天塩厳島神社例大祭  
今年の天塩川港まつりは、例年に盛大な「大花火大会」と「ボニーはん馬が行われます」。  
厳島神社例大祭は、神輿渡御や越中獅子舞、稚児舞などが行われます。2つのイベントで一層天塩の夏を満喫できます。  
場 所: 天塩町内(天塩町) お問い合わせ先: 天塩町企画商工課観光係 TEL:0163-2-1001

◆ 7月23日(土) はぼろ花火大会 ※雨天顺延7月24日(日)  
約3,000発の彩り鮮やかな花火が夜空を染め上げるだけでなく、鏡のように黒く輝く海面に乱反射した花火を楽しめます。夏の夜空に咲く大輪の花火をお楽しみ下さい。  
場 所: 羽幌港西防波堤(羽幌町)  
お問い合わせ先: 羽幌町観光協会 TEL:0164-62-6666

◆ 7月24日(日) 第8回北海道風車まつり&2011エビ電オナーin苫前 ※雨天決行  
苫前町と言えば「風」と「車」のまち!会場内では特産品販売や屋台ブースが設置され、子ども達が楽しめるアミューズメントコーナーやステージショーも行われ、ご家族揃って楽しめるイベントです。当日は、水揚げ量日本一の海域で採れた甘エビを活用した「エビ電オナーin苫前」も開催されます。  
場 所: とまえ夕陽ヶ丘未来港公園(苫前町)  
お問い合わせ先: 北海道風車まつり実行委員会(苫前町企画振興課商工観光係内)TEL:0164-64-2212  
エビ電オナーin苫前実行委員会(北るもい漁協苫前支所内)TEL:0164-64-2331

### 初山別村の特産品 ハスカップ

初山別村では畑場が主体となっておりハスカップの生産に取り組んでいます。村商産試験場にて栽培した白種ハスカップを利用して、ジャムやシロップ、シャーベットを生産しており、道の駅「空母町街道しよさんべつ」などで販売されています。

### 道の駅紹介③ ほっと♡はぼろ

客船を囲むようなユニークな建物に道の駅「ほっと♡はぼろ」があります。天然温泉、北海道海鳥センターやはぼろバード園と隣接しており、天然鳥や海鳥の海鳥について学びたい、これから徐々に咲き誇る満開のバラを楽しむことができます。

### <留萌管内の観光情報はここから>

北海道の萌える管内ガイドブック  
萌える地域で過ごす時を、ゆっくり、じっくり、楽しむためのガイドブックです。  
電子版は2次元コードからアクセスできます。(PCサイト)



### るもいYan

毎月発行の留萌地域情報発信フリーペーパー。観光情報、旬の話題、人、食に関する情報を紹介しています。

<http://rumoifan.net> (PCサイト)



## 旭川版 地域・観光情報

上川中南部道の駅 × シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルート

### 大雪・富良野 地域情報

7月

凡例 道の駅関連イベント シーニックバイウェイ情報発信関連イベント

①ネイチャーガイドと歩く変異の池ハイキング  
旭岳を望みながら地元のネイチャーガイドと歩きましょう。期間中、毎日実施。当日受付も可能です。  
日程: 平成23年6月26日(日)〜7月10日(日) 8:30〜(2h)  
場所: 大雪山国立公園 旭岳変異の池園地  
問合せ: NPO法人ねおず「大雪山自然学校」  
集合: 旭岳ロープウェイ山麓駅 (0166-82-6500)

②かみふらの花と炎の四季彩まつり  
まつりの夜は、町内を練り歩くあんどん行列を見ることができ、約3000発の花火がフィナーレを飾ります。  
日程: 平成23年7月24日(日)  
※花火/21:00〜22:00 ※雨天中止。まつり/10:00〜  
場所: 上富良野町 日の出公園 市街地公道  
問合せ: 上富良野町商工会 (0167-45-2191)

③当麻スカイスports体験会  
各種スカイスports機のデモフライト、抽選によるモーターグラブの体験乗などが行われる。  
日程: 平成23年7月24日(日)  
場所: 上川郡当麻町伊香牛1区 当麻スカイパーク  
問合せ: 当麻航空協会(金井) (0167-22-2715)

④第23回那智・美瑛火祭り  
十勝岳の沈静と町の発展を願い、約1km行進する大松明の大行列が迫力満点です。  
日程: 平成23年7月24日(日)  
場所: 丸山公園近郊  
問合せ: 美瑛町商工観光課 (0166-92-4321)

⑤第43回北海へそ祭り  
北海へそ踊りは珍奇な郷土民芸として人気があります。  
日程: 平成23年7月28日(木)〜29日(金)  
場所: 富良野市新相生通商店街特設会場  
問合せ: 北海へそ祭り実行委員会事務局(富良野市) (0167-39-2312)

⑥かなやま湖水まつり  
ロックフェスティバル、カヌー体験、ダム見学会、丸木切り大会等が行われる。フィナーレは盛大な花火で飾ります。  
日程: 平成23年7月30日(土)〜31日(日)  
場所: 南富良野町東越穂 かなやま湖畔キャンプ場  
問合せ: 南富良野まちづくり観光協会 (0167-39-7000)

⑦ひがしかわ どんとこい祭り  
花火大会、特産品販売、コンサート、フリーマーケット等、道庁から羽衣公園まで歩行者天国になり出店が並び、  
日程: 平成23年7月30日(土)〜31日(日)  
場所: 東川町市街地・羽衣公園  
問合せ: 東川町商工会 (0166-82-2750)

⑧なかふらのラベンダーフェア2011  
7月1日〜31日まで、さまざまなイベントが開催されます。  
●なかふらのラベンダー祭り花火大会  
日程: 平成23年7月30日(土)  
20:00〜20:45(※雨天時、31日に延期(予定))  
場所: 町営ラベンダー園  
●なかふらのふれあい広場  
日程: 平成23年7月31日(日)  
場所: JAふらの中富良野支所駐車場  
問合せ: 中富良野町観光協会 (0167-39-3033)

⑨ふらのを歩こう「太陽の里ウォーキング」  
農産物を食べ歩いているウォーキング。  
日程: 平成23年7月31日(日)  
場所: 山部太陽の里周辺  
問合せ: 山部商工会 (0167-42-2409)

シーニックバイウェイ北海道とは  
地域住民の方々や行政が連携し、地域資源の保全・改善の取り組みを進め、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図っています。

### Byway 南富良野ヘルシーお肉 (Byway春夏2011 vol.3より)

エンジカによる農産被害に悩まされていた南富良野町では、エンジカの活用を考え、町内に解体処理施設を開設。適切な処理により、クセもなく、上品な味わいのエンジカ肉が生産出来るようになりました。しかも、高タンパク・低カロリーなエンジカ肉は、

現代のヘルシー志向にぴったり。さまざまな商品開発から生まれたのが、薄めのエンジカのカツにカレーをかけてご当地カレー「南富良野エゾカツカレー」。今では、南富良野町の飲食店10店舗で味わえます。



この駅南ふらのでも食べられます。  
webでも公開中  
<http://www.scnibw.way.b/suport/suport7.html>

【編集】  
●上川中南部道の駅連携 事務局:道の駅 あさひかわ(旭川市神楽4条6丁目1番12号)  
●シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート 事務局:大雪 富良野ルートサポートセンター  
●北海道開発局 旭川開発建設部 道路計画課 (旭川市宮前東4155番地31) 電話0166-32-4409

# 民間企業等と連携した取組の拡大、充実

資料3-3(別紙④)

制度開始のH17から6年が経過し、民間団体等との連携により多様な取組が展開。今後、一層の連携の充実、拡大を図るため、これまでの企業等との連携を評価、検証し、推進協議会構成メンバーによる「連携推進PT」を設置し、今冬期の連携事業の実現を目指す。

## ～シーニックナイト(支笏洞爺ニセコルート)の場合～

### ■概要

魅力的な観光空間づくりとして、冬期間に落ち込む道内観光の活性化と、冬期の観光メニューを地域で連携し自ら創出することで、地域への愛着を深める取組として、支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りにつなぐ、シーニックナイトを実施。会場毎に思考を凝らした雪のオブジェやスノーキャンドル、地域と連携したイベントなどを実施。H23. 1月で、6回目。

### 【実施内容】

1. 雪のオブジェの制作
2. キャンドルの制作
3. 携帯フォトコンテスト
4. 地域イベントの開催

### ■役割



### ■連携効果

- ・ 企業の情報発信力によるPR効果 → シーニックの認知度向上、地域情報の発信強化により地域が活性化
- ・ CSR・取組実績の一貫として、地域と協働した活動が実現 → 取組の拡大により地域が活性化

### ■課題

取組の拡大、充実に向けては、団体の活動計画と連携を希望する対象企業のマッチングが必要。



# 民間企業等と連携した取組の拡大、充実

## ～ウインターサーカス (大雪・富良野ルート)の場合～

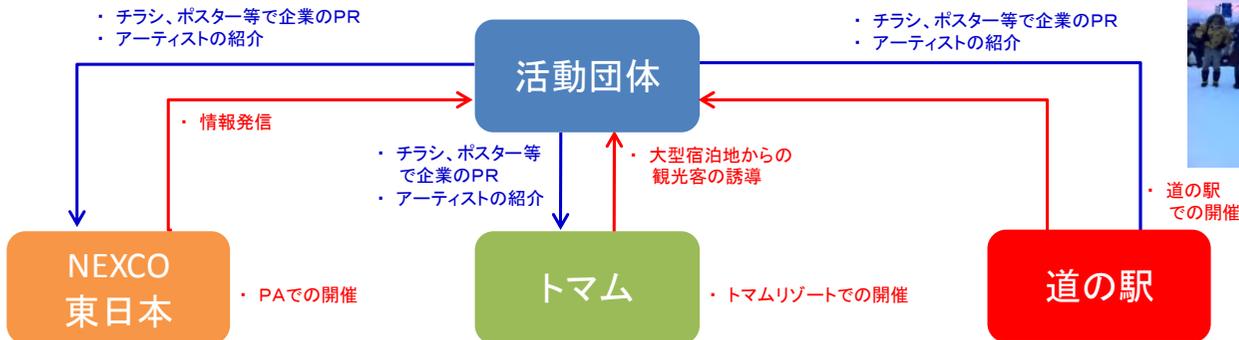
### ■概要

ウインターサーカスとは、魅力的な観光空間づくりとして、冬期間に落ち込む道内観光の活性化を目指し、シーニックバイウェイ北海道・大雪・富良野ルートで実施されている、『雪』と『アート』／『地域』と『アーティスト』による広域アートプロジェクト。平成18年から実施し、H23. 2月で、6回目。

### 【実施内容】

1. 雪のランドアート制作／2. 夜間鑑賞会の開催／3. 雪のワークショップの実施／4. 風化するアートの記録(春までの経過記録)

### ■役割



### ■連携効果

- ・連携することで実施箇所が増え広域的なプロジェクトとなる → 取組エリアの拡大により集客が向上し地域が活性化
- ・連携して取り組むことにより、地元大学との連携が実現 → 取組の質の向上により集客が向上し地域が活性化
- ・自社イベントとの相乗効果により、冬期観光の充実 → 冬期滞在の推進、新たな冬の魅力創出により地域が活性化

### ■課題

企業との連携では早期に開催時期を決定するなど、スケジュール管理が重要。連携の拡大、充実に向けては、連携のスケジュール管理、団体が希望する連携ニーズを事前に把握し、企業側とマッチングする体制が必要。



# 民間企業等と連携した取組の拡大、充実

## ～北海道グルメフェア（シーニックバイウェイ北海道）の場合～

### ■概要

北海道の各地には、まだまだ知られていない「味」が眠っており、そんな歴史や産業を背景とした「その土地ならではの味」を、北海道×ローソン北海道×シーニックバイウェイ北海道の共同企画で提供。「北海道グルメフェア」は、食べ応援するフェアです。（北海道グルメフェアHPより）

### ■役割



### 【実施内容】

毎月2週間ずつ、1年間(12回=12ルート)に渡り開催するローソン北海道として初めての通年(H22.11～H23.10)企画。

※全道ローソン546店舗(H23.6月末現在)で同時販売。

シーニックバイウェイ北海道のルートをベースに地元食材を使用した新メニューのお弁当を販売するとともに、お弁当のQRコードを読み取ると、地域の季節のイベントや観光情報の専用情報ページに繋がる。

食材情報の提供は、北海道とシーニックバイウェイ北海道のルート活動団体が、イベントや観光情報のサイトはシーニックバイウェイ支援センターが担当。

### ■連携効果

- ・地域に関連した食材を使った弁当などの販売 → 地域食材の認知度向上、地域資源の発掘により地域が活性化
- ・QRコードなどによる情報発信強化 → シーニックの認知度向上、地域情報の発信強化により地域が活性化
- ・全道的な取組とすることが出来、全ルートを対象とすることが可能となった → 広域取組となり地域が活性化

### ■課題

団体の単独イベントよりも、行政とのタイアップ企画のほうが、企業として連携しやすいとの意見があり、企業と活動団体を繋ぐ役割が重要。

## 北海道横断自動車道(夕張～占冠間)供用を契機とした取組み ～ハイウェイ・バイウェイ～

北海道横断自動車道(占冠IC～夕張IC)が今秋開通予定。

これを契機に、十勝のシーニックバイウェイ3ルート「十勝平野山麓ルート」、「トカプチ雄大空間」、「南十勝夢街道」では、交流人口の拡大、地域の活性化を図るため各種取組を関係団体と連携しながら展開中。シーニック推進協議会構成機関による更なる支援が望まれる。

なお、十勝シーニックバイウェイでは、オールとかち魅力発信連絡協議会の一員としても、交流人口の拡大・経済の活性化に向けて取り組んでいます。

### <取組内容>

1. 魅力ある観光空間づくり  
(イルミネーションの実施、案内標識の設置 等)
2. 美しい景観づくり  
(景観改善、不要な看板の撤去・更新、フォトコンテストや展示会の開催 等)
3. 活力ある地域づくり  
(人材育成、情報発信 等)
4. オールとかち魅力発信連絡協議会の一員として取組み

# 北海道横断自動車道(夕張～占冠間)供用を契機とした取組み

## 1. 魅力ある観光空間づくり

### ① イルミネーションの実施

【日時】 12月上旬～2月上旬

【場所】 南十勝夢街道の全ての町

中札内村:商工会館前、道の駅「なかさつない」

幕別町:道の駅「忠類」

更別村:と・き・め・きイルミネーション(役場前通り)

大樹町:道の駅「コスモール大樹」、西本通バス停、

広尾町:町内全域(大丸山森林公園(サンタの山)、役場前、商工会館前等)



### ② 共通案内標識の設置

目的地への円滑な誘導を行うため、地域と協働して選定した案内標識を設置する。

(開発局、北海道、町村が連携)



## 2. 美しい景観づくり

### ① 「道の駅」まわりの景観改善

十勝シーニックバイウェイでは、例年、春期に清掃や植栽活動を実施しているが、本年度は、道東道の開通を見据えて、来訪者をもてなすよう、「道の駅」を中心にした清掃等を実施する。

【日時】 9月～10月ごろ

【場所】 道の駅等

### ② 不要な看板の撤去・更新

沿道に設置されている民間看板のなかには、既に開催されていないイベントや、営業していない店舗の看板など、不要な看板も多数存在し、景観を阻害する要因となっている。そこで、十勝シーニックバイウェイでは、これら不要な看板について、設置者等と協議を行いながら、撤去や更新を行っている。

(今後も、設置者等との意向も踏まえながら、実施予定)



### ③ フォトコンテストや展示会の開催

【日時】

十勝平野山麓ルート: 秋期～、

南十勝夢街道: 7月～



# 北海道横断自動車道(夕張～占冠間)供用を契機とした取組み

## 3. 活力ある地域づくり

### (1) 情報の発信等

#### ① ルートマップや見どころマップ等の作成・配付

【日時】 8月～

【場所】 札幌圏の集客施設等、高速道路SA・PA、帯広管内の「道の駅」、とかち帯広空港、シーニックカフェ、民間施設(北の屋台、真鍋庭園等)など

#### ② スタンプラリーの実施

「道の駅」や空港と連携しながら、スタンプラリーを実施することを通じて、これまでの、シーニックバイウェイ北海道の活動を通じて発見された、旬の十勝の魅力を発信する。

#### ③ 推進協議会構成団体からの情報発信

JAFと帯広観光コンベンション協会がタイアップし、観光情報をネット上に掲載予定

#### ④ 道外・海外観光客に向けたPR

「十勝シーニックバイウェイ」では、今秋の札幌都市圏との交流強化後の展開として、道外や海外観光客との交流について検討を行っており、今後、PR等を実施していく予定



### (2) 人材の育成

#### ① ライフコンシェルジュによる案内

トカプチ雄大空間では、道東道～道央圏が全通することにより、350万人の市場が近くなることをチャンスと捉え、地域住民自らが“ライフコンシェルジュ”として、十勝の魅力や情報を観光客などにアドバイスを行うための人材育成お行っている。(約30名がボランティアとして登録)

#### ② 道央圏と十勝の子ども達の交流

子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育み、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的とし、学校授業の中で子供達による地域マップ”を作成しているが、道東道の開通を契機に、道央圏と十勝の子ども達の交流についても検討予定



# 北海道横断自動車道(夕張～占冠間)供用を契機とした取組み

## 4. オールとから魅力発信連絡協議会の一員として取組み

道東道の開通が秋に迫り、十勝地域が一体となって交流人口の拡大・経済の活性化に取り組むため、各団体が連携した取組が、オール十勝で、推進されている。

十勝シーニックバイウェイ(十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道)においても、協議会の一員として、情報の発信等に努めているところ。

### (1) 取組の内容

- ① 「統一キャンペーン名」等を定め、地域内外へ一体感をアピールする。
- ② 情報共有の仕組みを構築し、団体間の連携を促進する。
- ③ キャンペーン事業を積極的に情報発信する。

### (2) 体制

帯広商工会議所、十勝管内商工会連合会、十勝観光連盟、北洋銀行帯広中央支店、北海道銀行帯広支店、北海道ガーデン街道協議会、農業協同組合、帯広畜産大学、NEXCO東日本北海道支社、JR北海道、日本航空帯広支店、商工会議所青年部、JA北海道中央会帯広支所、ホクレン農業協同組合連合会帯広支所、十勝毎日新聞社、北海道新聞社帯広支社、十勝シーニックバイウェイ(十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道)、帯広開発建設部、帯広運輸支局、帯広市、十勝町村会、北海道十勝総合振興局等)

「とから魅力発信キャンペーン」連携事業 別紙

「とから魅力発信キャンペーン」主なイベント事業の展開イメージ (平成23年)

※道東道開通10月上旬と仮定

区分	キックオフ期			盛り上げ期				全通期		おもてなし期			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
準備	連絡協議会 キヤッチフレーズ・ シンボルマークの 募集、制定			総合振興局 シール作成			19市町村 大型ポスター作成						
中核事業							総合振興局 道央 オータム フェスタ (7/23-24)	19市町村 道央 オータム フェスタ (9/18-20)		19市町村 道央 おもてなし イベント (未定)			
重点事業	【表の見方】 実施主体 実施地域 事業名等 (時期)			連絡協議会 19市町村 道央 プレ発信 (3/12)			十勝道 道央PR (7/1-3) 十勝PR商談 (7/14-15) NEXCO東日 道央 道東道PR (7/16-17)		道央 道央PR (未定) 道央PR (未定)		道央 PR (未定)		総合振興局 道央 道央PR (9月-12月)
基盤事業				道子王国十勝実行委員会 道子王国十勝2022 9/14/22-7/1			19市町村 道と道徳 十勝平原SA観光物産PR事業(6/4~10/31)		とから財団 十勝ブランドスタンプラリー (7月～ 終了時期未定)		NEXCO スカイロード 十勝スカイロード道一巡～道一巡～キャンペーン (7月～2月)		

(平成23年6月現在)